

殿

仕 様 書

位置検知型漏水センサ

A D - L

年 月


タツタ電線株式会社

システム・エレクトロニクス事業本部

システム事業部

承認	確認	作成

<<<安全にご使用いただくために！>>>


 **警告事項について**

警告ラベル又は下記の警告事項を無視して誤った取り扱いをすると死亡や重傷を負う恐れがある他、火災・感電・故障の原因となります。


 **警告事項**

 **厳禁！**

- センサを電線として使用しないで下さい。
- センサを敷設する場合、金属部と接触しないようにして下さい。漏水発生時に正確な位置検出で出来なくなります。

 **確認して下さい！**

- センサは1回路につき250m以下でご使用下さい。
- 汚れたセンサは機能を発揮しません。取り扱いに注意して下さい。
- 取り扱い時は水濡れ厳禁。
- センサご使用の際は必ずセンサケース裏面の注意説明をご覧になって下さい。

 **設置しないで下さい！**

- 結露が発生する場所への直接取り付けは避けて下さい。
- センサと取り付け面は出来るだけ密着させて下さい。部分的な隙間は床などの水平面で2mm以下、柱・梁などの垂直面で1mm以下にして下さい。
- センサの電極は外部電磁誘導の影響を少なくする為、2ヶ燃り構造になっていますが、電力ケーブルなどとの長距離平行配線は避けて下さい。
- センサが使用電圧300V以上の電力ケーブルと交差する場合、センサに絶縁性の隔壁(プラスチックモールなど)を堅ろうに取り付けて保護して下さい。
- センサは漏水を検知した後、水分が蒸発すれば復帰しますが、水の中に導電性、撥水性の汚染物質などが溶解している場合は復帰しない事があります。この場合はセンサを取り替える必要がありますので交換可能な敷設方法を採用して下さい。
- センサにワックスなどの油分が付着すると水をはじいて検知しない場合がありますのでご注意して下さい。

目 次

	頁
1. 適用範囲	1
2. 構造	1
3. 仕様	1

1. 適用範囲

本書は漏洩位置検知型漏水検知器専用が開発され、水漏れ位置を素早く検知する漏洩位置検知センサ(AD-Lセンサ)に適用します。

2. 構造

AD-Lセンサの構造を図-1及び図-2に示す。

電極1(赤色) : 錫メッキ軟銅撚り線0.75mm²上にプラスチック系編組

電極2(青色) : 錫メッキ軟銅撚り線0.5mm²上にプラスチック系絶縁

電極3(白色) : 抵抗線上にプラスチック系編組

外部編組 : プラスチック系編組

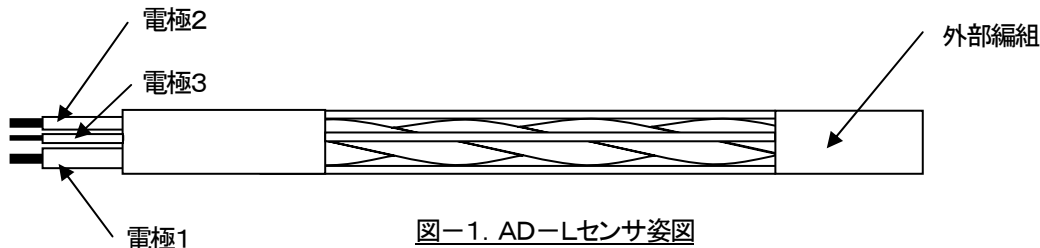


図-1. AD-Lセンサ姿図

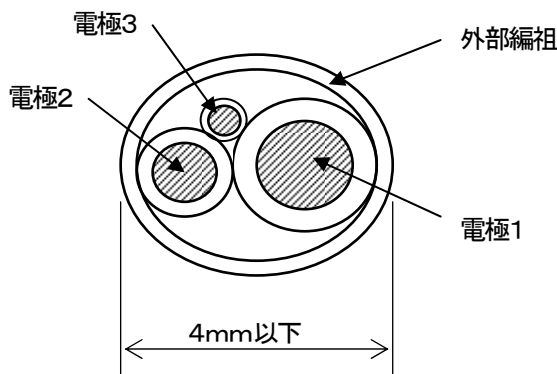


図-2. AD-Lセンサ断面図

3. 仕様

AD-Lセンサの仕様を表-1に示す。

表-1. 仕様

項目	仕様	
電極抵抗(DC)	電極1	26.60Ω/km(20℃)「標準値」
	電極2	36.70Ω/km(20℃)「標準値」
	電極3	10.86Ω/m(20℃)「標準値」
絶縁性能	電極1-電極2の電極間	DC100Vメガーにて電極間の絶縁抵抗10MΩ以上
	電極1-電極3の電極間	DC100Vメガーにて電極間の絶縁抵抗10MΩ以上
	電極2-電極3の電極間	DC100Vメガーにて電極間の絶縁抵抗10MΩ以上
吸水(感度)特性	滴水が3.0ml以下の水量で漏洩検知 (0.05ml/秒で水滴をセンサに直接滴下した場合:市水) 漏水検知位置の特定は 接続センサ長 :100m以内の場合 ±1m :101m以上の場合 接続センサ長の±1%	
耐湿特性	高湿雰囲気中でも結露が無い限り検知せず	
復帰性	漏水検知後自然状態(センサに給水が無い状態)で30分以内に復帰、但し、漏水の中に導電性、撥水性等の汚染物質が含まれている場合は再使用不可	
耐熱性	連続使用温度 60℃以下	
重量	約20g/m	